

東証一部 6143

未来を創る

2017年12月期

決算説明会

2018年2月23日

Sodick
株式会社 ソディック

2017年12月期 連結対象期間について	3
Ⅰ. 2017年12月期 決算概要	4
Ⅱ. 比較参考数値	15
Ⅲ. 株主還元	19
Ⅳ. 2018年12月期 業績予想	21
Ⅴ. 中長期的戦略及び見通し	26
(参考資料)	31

2017年12月期 連結対象期間について

- ✓ 2017年度より決算期を3月31日から12月31日に変更し、中国の子会社との3ヶ月間の期ズレを解消。2017年12月期は9ヶ月間の変則決算となります。

①2017年12月期 の連結対象期間（財務報告ベース）

- 3月決算会社：2017年4～12月 ●12月決算会社（中国の7社）：2017年1～12月

	1-3月	2017年3月期				2017年12月期		
		4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q	1-3月 4Q	4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q
3月決算会社		12ヶ月				9ヶ月		
12月決算会社		12ヶ月				12ヶ月		

②比較参考数値の連結対象期間（比較参考数値：調整後）

- 2016年：全社 2016年1～12月 ●2017年：全社 2017年1～12月

	1-3月	2017年3月期				2017年12月期		
		4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q	1-3月 4Q	4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q
3月決算会社								
12月決算会社								

※比較参考数値はP.15～P.18 をご参照下さい。

I . 2017年12月期 決算概要



業績ハイライト (財務報告ベース)

- ✓ 中国を中心に放電加工機の販売台数が大きく増加したことにより、売上高・利益共に期初計画を大幅に上回る。
- ✓ 利益面では、販売台数増加に伴い、営業利益率が大幅に改善。

(百万円)

	2017年3月期		2017年12月期		2017年12月期 期初通期予想	
	実績	利益率	実績	利益率		
売上高	61,812	-	65,604	-	55,800	
売上総利益	22,494	36.4%	23,159	35.3%	-	
営業利益	5,236	8.5%	7,490	11.4%	5,300	
経常利益	4,620	7.5%	7,910	12.1%	5,200	
純利益	3,644	5.9%	5,736	8.7%	3,700	
ROE	7.4%		11.1%			
期中平均 為替レート	ドル ユーロ 人民元 バーツ	108.34 円 118.74 円 16.32 円 3.08 円		111.69 円 128.55 円 16.62 円 3.33 円		105.00 円 116.00 円 15.80 円 3.16 円

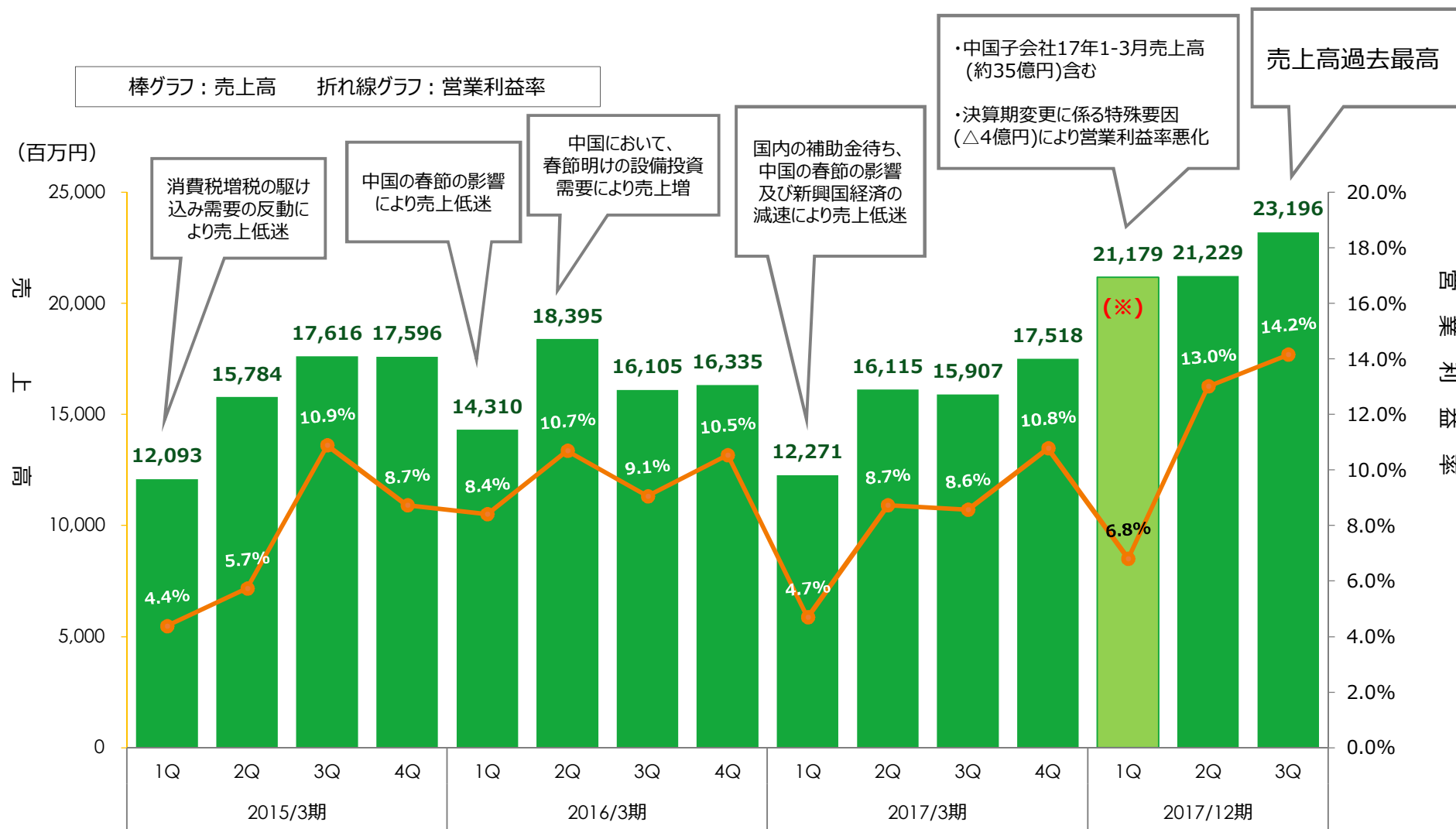
※参考情報 2017年12月末 為替レート ドル：113.00円 ユーロ：134.94円 人民元：17.29円 バーツ：3.45円
2017年3月末 為替レート ドル：112.19円 ユーロ：119.79円 人民元：16.76円 バーツ：3.26円

※決算期変更に伴い、2017年12月期は3月決算会社は4～12月の9ヶ月間、12月決算会社は1月～12月の12ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前期比増減については記載しておりません。

※決算期変更に伴う影響額（営業利益に対し約4億円マイナス）。

売上高・営業利益率推移（四半期毎：財務報告ベース）

- ✓ 中国での販売が牽引し、第3四半期の売上高は231億円と四半期で過去最高を達成。
- ✓ 販売台数増加に伴い利益率は14.2%と第2四半期に引き続き高水準を維持。



(※)決算期変更による変則決算のため、3月決算会社の4-6月及び12月決算会社の1-6月の数値を含みます。

セグメント別業績 (財務報告ベース)



(百万円)

		2017年3月期	2017年12月期
		実績	実績
売上高	● 工作機械事業	43,355	47,559
	● 産業機械事業	9,366	9,981
	● 食品機械事業	3,429	3,467
	● その他事業	5,661	4,596
		61,812	65,604
セグメント利益	● 工作機械事業	6,213	7,478
	● 産業機械事業	617	976
	● 食品機械事業	159	178
	● その他事業	859	847
		7,851	9,481
調整額		△ 2,614	△ 1,991
営業利益 合計		5,236	7,490

工作機械事業

- ✓ 中国では、ものづくりの高度化、自動化対応、中国政府の補助金政策の影響により、電動化が進む自動車関連や高度化するスマートフォン関連を中心に受注、販売共に期初計画を大きく上回り業績を牽引。
足元では、需要急増による主要部材の供給不足など一部影響が見られるものの、中国では例年需要が低迷する秋口以降も幅広い産業で需要旺盛。
- ✓ 日本はものづくり補助金の影響もあり自動車関連を中心に堅調。
- ✓ 北米はやや一服感が見られたものの、期末にかけて回復基調。
- ✓ 欧州（ドイツ、イタリア等）は、自動車、航空宇宙関連が堅調。
- ✓ その他アジア地域も、自動車、半導体関連需要は拡大基調。

産業機械事業

- ✓ 中国、アジア、日本を中心に車載用コネクタやセンサー部品、スマートフォン・車載カメラ用光学レンズなど高付加価値部品向けの需要が堅調。
- ✓ スマートフォンの防水機能強化のためのシリコン成形機の需要も継続。

食品機械事業

- ✓ 調理麺の品質向上のための設備投資需要は堅調。
- ✓ 製菓、包装米飯など製麺業界以外の需要、自動化設備需要も拡大。
- ✓ 第3四半期にて検収が進んだ結果、売上高は概ね計画通り。
- ✓ 新製品立ち上げコストの一時的な発生により、セグメント利益は伸び悩む。

その他事業

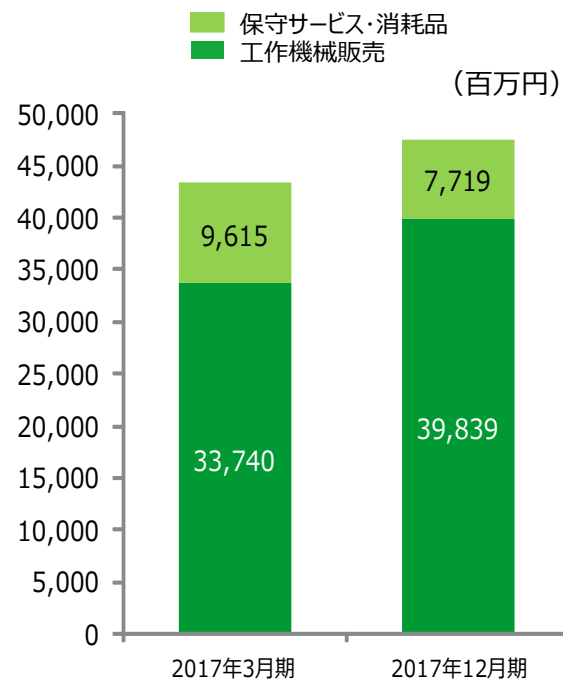
- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの販売が順調。

※決算期変更に伴い、2017年12月期は3月決算会社は4～12月の9ヶ月間、12月決算会社は1月～12月の12ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前期比増減については記載していません。

セグメント別 売上高内訳 (財務報告ベース)

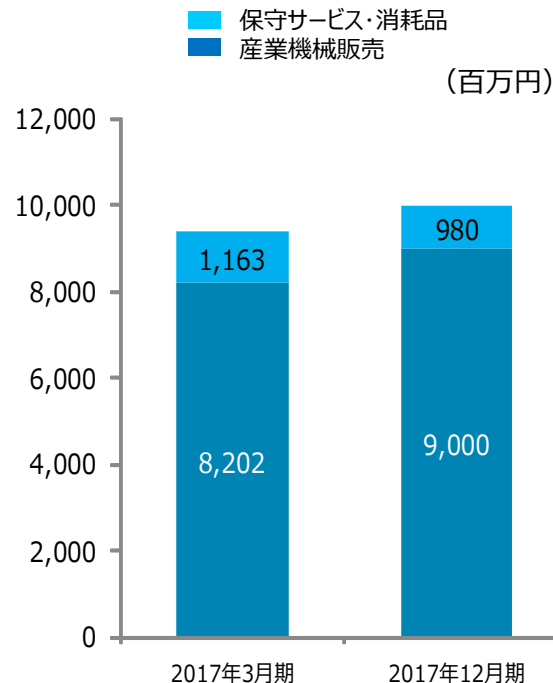
✓ 安定キャッシュを生み出す保守サービス・消耗品の売上高は15%程度を占める。

工作機械事業



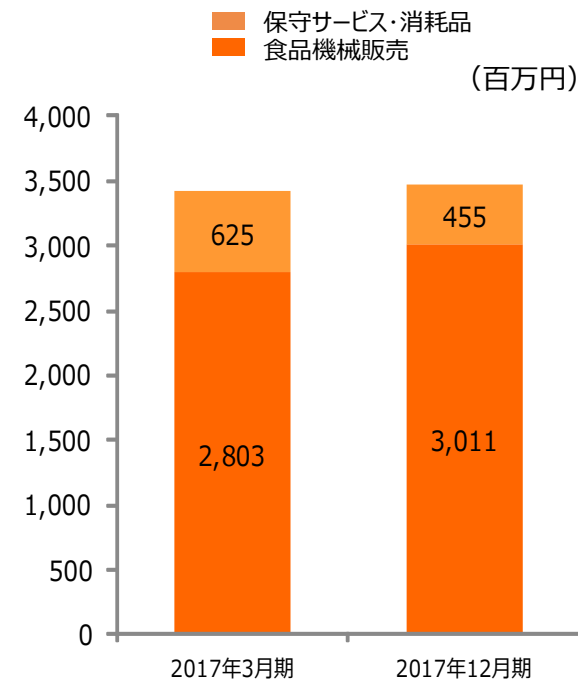
工作機械事業	2017年3月期	2017年12月期
工作機械販売	33,740	39,839
保守サービス・消耗品	9,615	7,719
合計	43,355	47,559

産業機械事業



産業機械事業	2017年3月期	2017年12月期
射出成形機販売	8,202	9,000
保守サービス・消耗品	1,163	980
合計	9,366	9,981

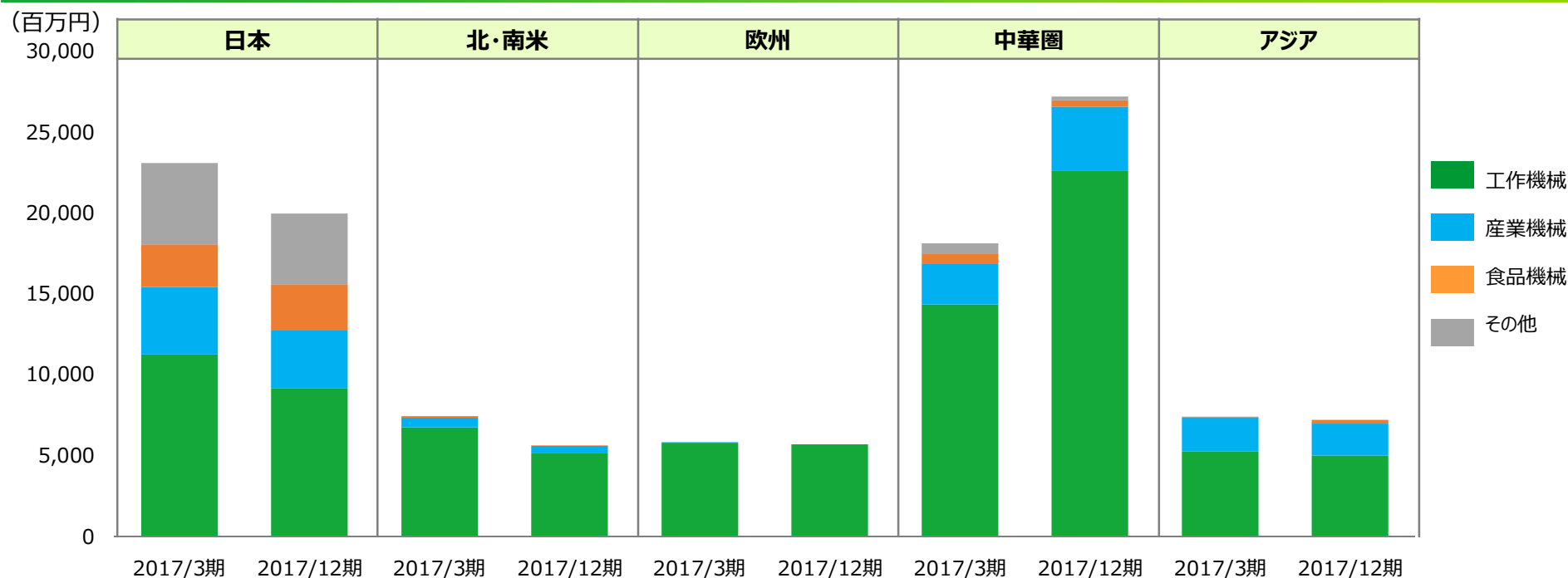
食品機械事業



食品機械事業	2017年3月期	2017年12月期
食品機械販売	2,803	3,011
保守サービス・消耗品	625	455
合計	3,429	3,467

※決算期変更に伴い、2017年12月期は3月決算会社は4～12月の9ヶ月間、12月決算会社は1月～12月の12ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。

事業別海外売上高比率 (財務報告ベース)



2017年3月期	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計 (百万円)	
工作機械	11,238	25.9%	6,742	15.6%	5,792	13.4%	14,319	33.0%	5,262	12.1%	43,355	70.1%
産業機械	4,163	44.5%	591	6.3%	3	0.0%	2,512	26.8%	2,095	22.4%	9,366	15.2%
食品機械	2,631	76.7%	109	3.2%	-	-	653	19.1%	34	1.0%	3,429	5.5%
その他	5,037	89.0%	-	-	-	-	624	11.0%	-	-	5,661	9.2%
地域別計	23,071	37.3%	7,442	12.0%	5,796	9.4%	18,109	29.3%	7,392	12.0%	61,812	100.0%

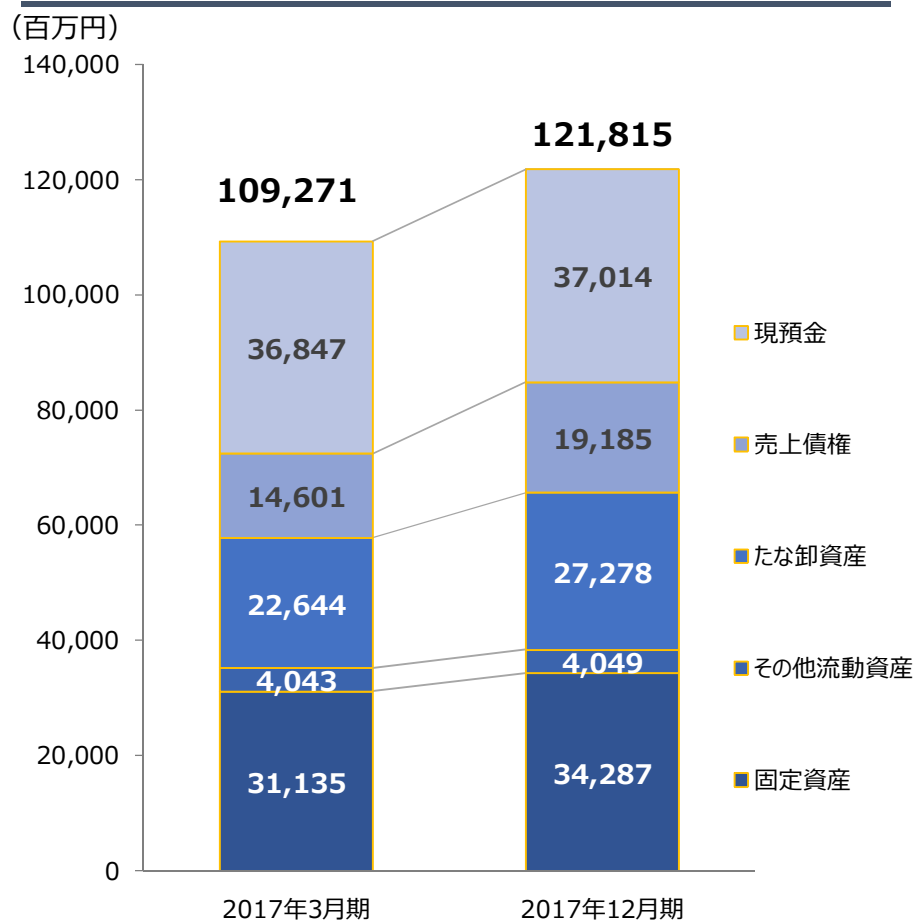
2017年12月期	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	9,143	19.2%	5,149	10.8%	5,702	12.0%	22,575	47.5%	4,987	10.5%	47,559	72.5%
産業機械	3,581	35.9%	451	4.5%	0	0.0%	3,956	39.6%	1,991	20.0%	9,981	15.2%
食品機械	2,844	82.1%	1	0.0%	-	-	409	11.8%	211	6.1%	3,467	5.3%
その他	4,358	94.8%	-	-	-	-	238	5.2%	-	-	4,596	7.0%
地域別計	19,928	30.4%	5,603	8.5%	5,702	8.7%	27,179	41.4%	7,190	11.0%	65,604	100.0%

※決算期変更に伴い、2017年12月期は3月決算会社は4～12月の9ヶ月間、12月決算会社は1月～12月の12ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。

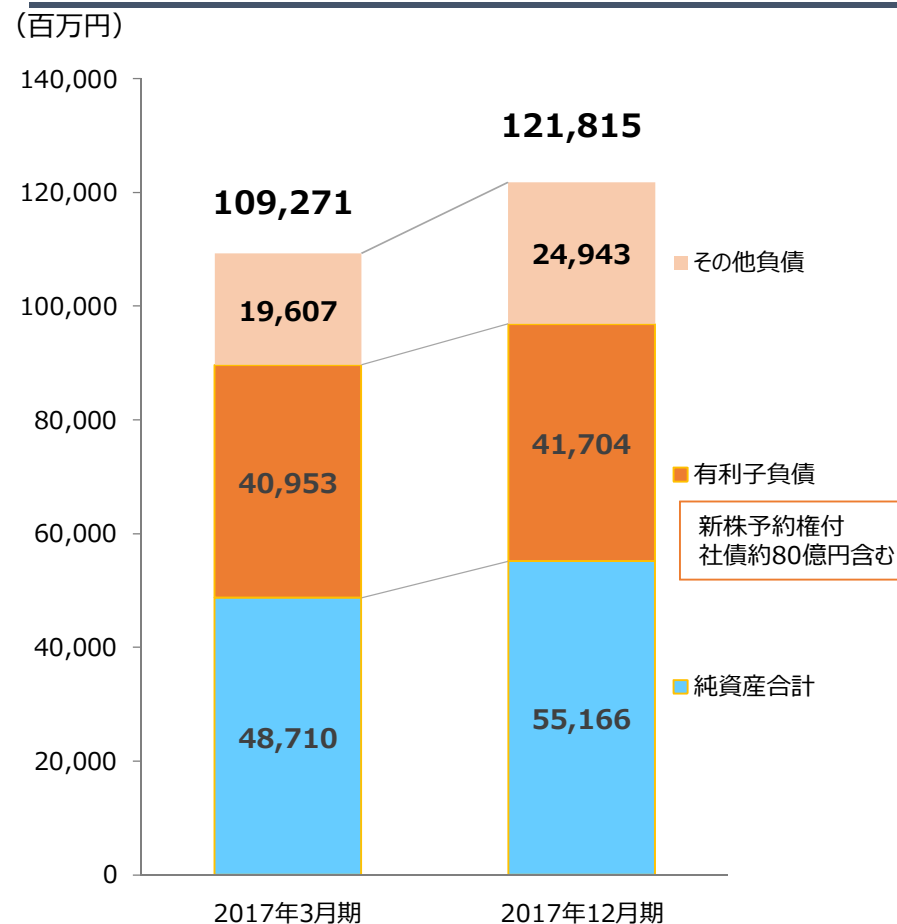
貸借対照表

- ✓ 受注増加に伴い、売上債権、たな卸資産が大幅に増加。
- ✓ 自己資本の増加に伴い、財務体質は着実に改善。

資産

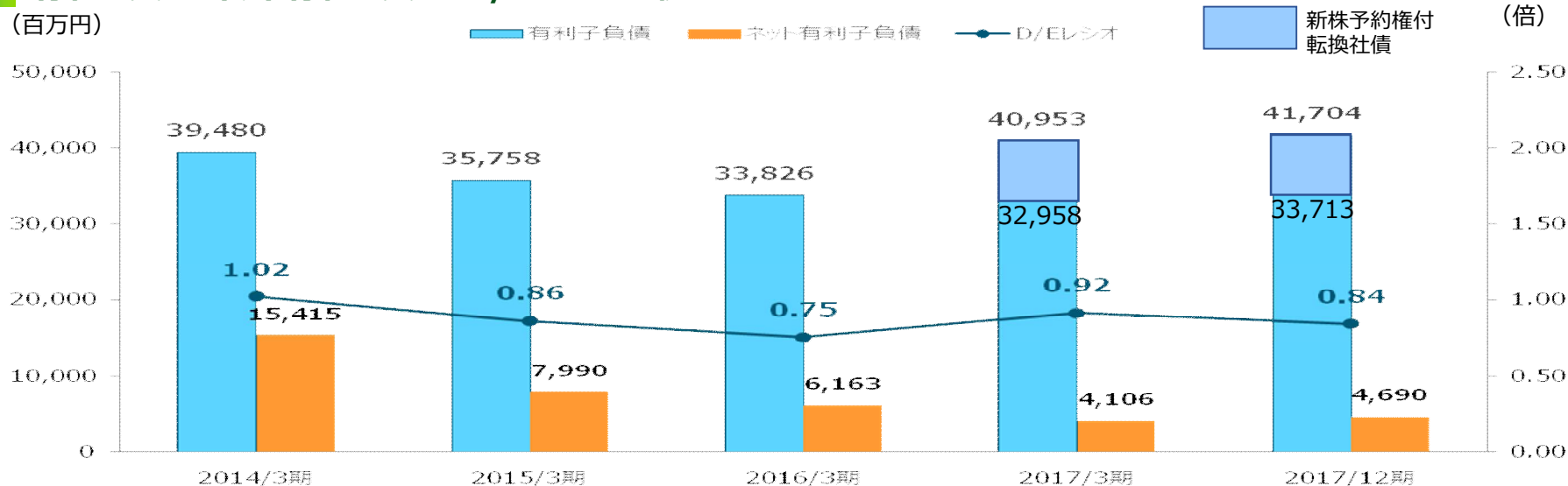


負債・純資産

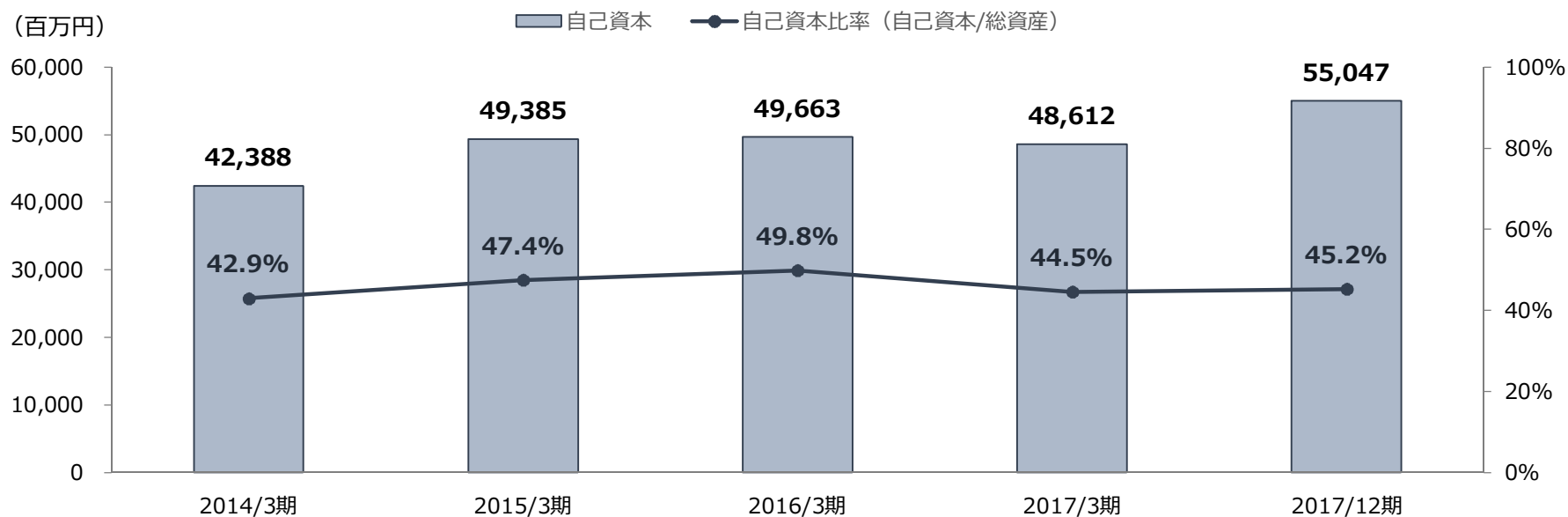


※参考情報 2017年12月末 為替レート ドル：113.00円 ユーロ：134.94円 人民元：17.29円 バーツ：3.45円
 2017年3月末 為替レート ドル：112.19円 ユーロ：119.79円 人民元：16.76円 バーツ：3.26円

有利子負債・ネット有利子負債・D/Eレシオ 推移



自己資本・自己資本比率 推移

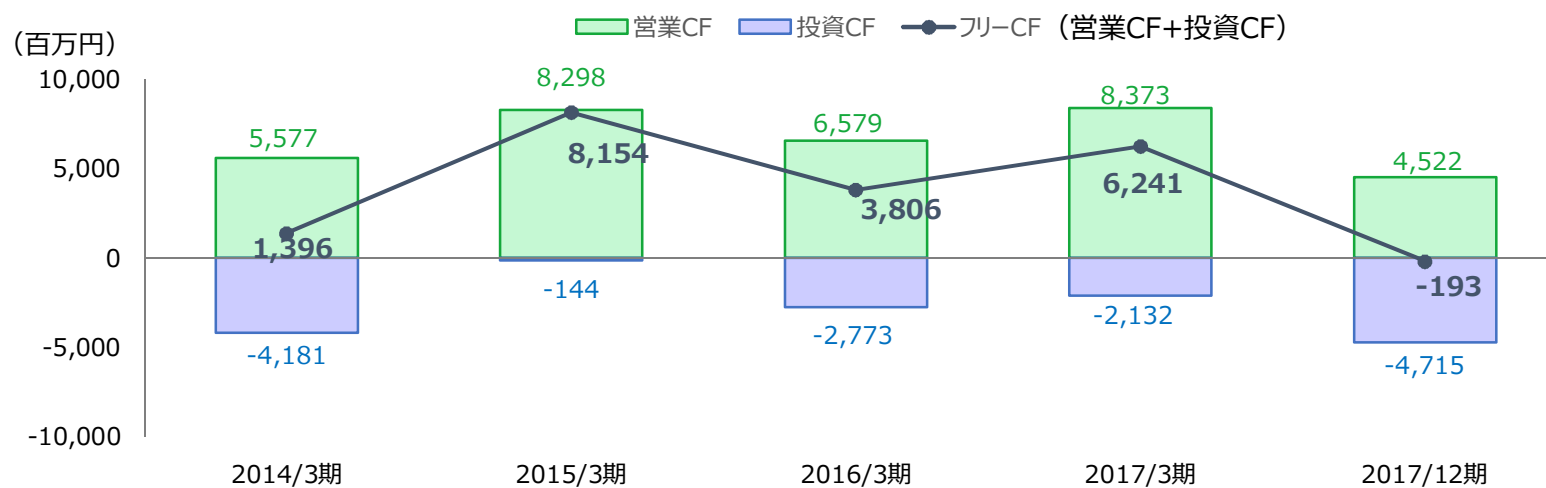


キャッシュ・フロー

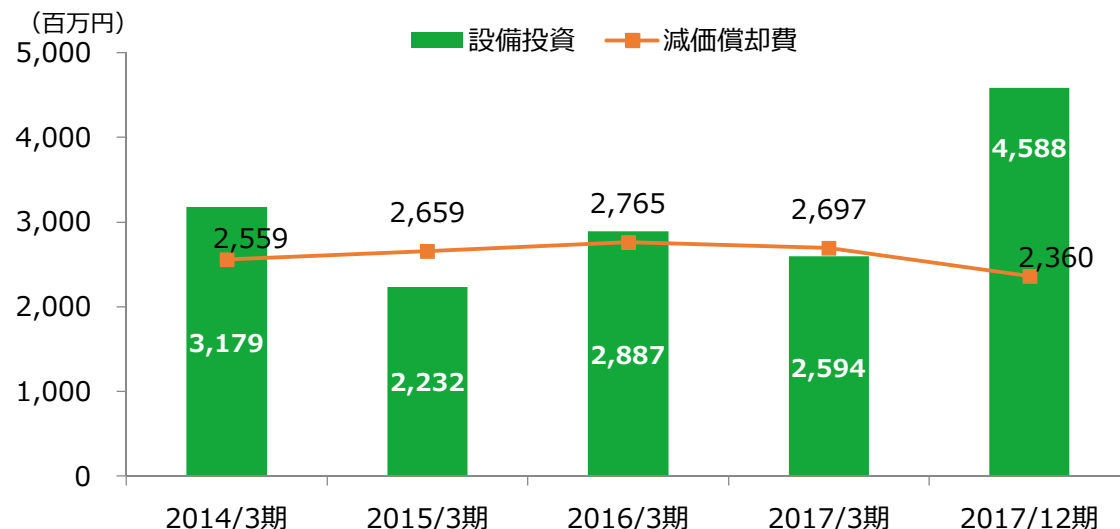
- ✓ 投資活動によるキャッシュ・フローが大幅に増加しているものの、営業キャッシュフローの範囲内に概ね収まっており、手元キャッシュは前期並みの水準を維持。

(百万円)

	2017年3月期	2017年12月期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,373	4,522	売上債権の増加 △約42億円、 たな卸資産の増加 △約41億円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,132	△4,715	有形固定資産の取得 △約42億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,134	△439	長期借入金の返済による支出
現金及び現金同等物の期末残高	36,037	36,075	



設備投資／減価償却費の推移



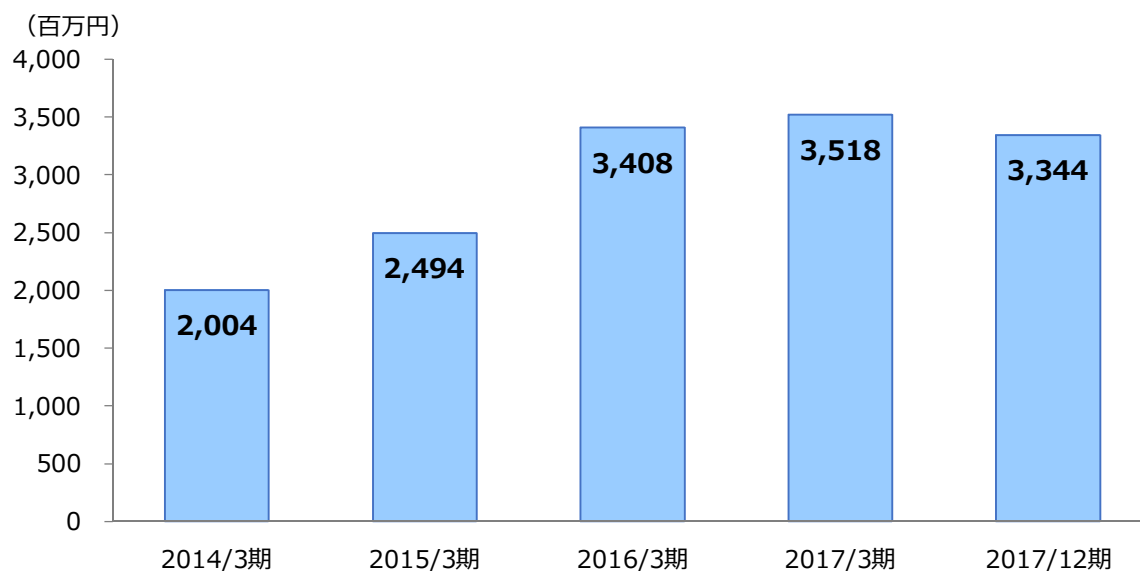
▶ 主な設備投資について

- ✓ 横浜本社 研究開発棟
- ✓ 加賀事業所 新物流センター
- ✓ タイ 第2工場増設および生産能力増強に伴う生産設備
- ✓ アメリカ 営業拠点の新社屋
- ✓ 精密金型・精密成形事業 生産設備

▶ 減価償却費について

- ✓ 2017年12月は9ヶ月間の変則決算のため微減。





研究開発費の推移



▶ 研究開発費について

- ✓ 金属3Dプリンタ関連、その他基礎研究の開発費増加。

2017年12月期リリース主な新製品

セグメント	工作機械	産業機械	産業機械	食品機械
製品名	<p>大型ワイヤ 放電加工機 「AL800G」 「ALN800G」</p> 	<p>電動射出成形機 eV-LINE 「MS50」 「MS200」</p> 	<p>「MR30」による 自動生産システム 「ICF-V」</p> 	<p>無菌包装米飯 製造システム</p> 
販売市場	<p>精密・電子・電気機器、自動車 エネルギー、航空宇宙</p>	<p>精密・電子・電気機器、自動車</p>	<p>精密・電子・電気機器、自動車</p>	<p>大手食品メーカー (国内、海外) 等</p>
製品特徴	<p>・「ALシリーズ」のラインナップに、より広範な加工が可能な機種として「AL800G」、「ALN800G」を開発。 自動車関連、電気関連の大型金型や、エネルギー・航空宇宙、自動車関連の大型部品加工に適しております。 「Sodick IoT」を標準対応しており、インターネットを活用した次世代のものづくりもサポートします。 「AL800G」では、先進的な環境対応型機械として独創的なフルカバースタイルを採用しており、グローバル規格に準拠しています。</p>	<p>・V-LINEの基本性能をベースとし、射出、可塑化装置および型締装置をサーボモータ駆動にすることで、ハイサイクルかつ高精度成形を実現。 ・2016年にリリースした型締め力100トンの「MS100」に、より精密な小物成形品に対応する同50トンの「MS50」、自動車部品などのより大きな成形品に対応する同200トンの「MS200」を加え、ラインナップを拡充。新興国などのボリュームゾーンをターゲットに、シェア拡大を目指す。</p>	<p>・「ICF-V」(Injection molding Cell Factory by V-Line system) は射出成形のIoTを具現化した小さな最強スマートファクトリー。ホストPCと複数台のMR30(金属3Dプリンタで製造した金型専用射出成形機)、自動機をネットワークでつないだシステムを構築。カセット金型の交換を自動で行い、異なる成形品の自動生産が可能となります。「ICF-V」を導入することにより、ネットワークへ接続された機械の各種情報を活用し、監視、保守、制御、分析することで、工程の見える化を実現します。</p>	<p>・製麺機の技術を応用し、家庭で炊いたようなおいしいご飯を提供できる無菌包装米飯製造システムを開発。洗米から製品の出来上がりまで、ほとんど人手に触れずに製造できるシステムを構築し、高い安全性を実現。140℃の蒸気を活かした加圧釜により、短時間で無菌化でき、お米のうまみを最大限に引き出します。長期保存が可能のため、家庭内の備蓄食料のほか、海外での需要増加も期待できます。</p>

Ⅱ. 比較参考数値

※監査法人による監査を受けていない参考数値です。

※比較参考数値は、決算期を3ヵ月ずらして連結していた中国の連結子会社の期ズレを解消し、全会社の連結対象期間を統一し調整した数値です。

業績ハイライト ※比較参考数値（調整後）

- ✓ 中華圏を中心に放電加工機の販売台数が大きく増加したことにより、売上高・利益共に過去最高を達成。
- ✓ 販売台数増加に伴い営業利益率は11.6%と前年同期から大幅に改善。

(百万円)

	2016年1～12月		2017年1～12月		増減		2017年 1～12月 期初通期予想
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	
売上高	62,284	-	78,714	-	16,429	26.4%	67,900
売上総利益	22,410	36.0%	28,483	36.2%	6,072	27.1%	-
営業利益	5,285	8.5%	9,161	11.6%	3,876	73.3%	6,900
経常利益	4,452	7.1%	9,384	11.9%	4,931	110.8%	6,600
純利益	3,417	5.5%	6,664	8.5%	3,246	95.0%	4,800
期中平均 為替レート	ドル	108.78 円		112.16 円			105.00 円
	ユーロ	120.26 円		126.70 円			116.00 円
	人民元	16.32 円		16.62 円			15.80 円
	バーツ	3.08 円		3.31 円			3.16 円

※監査法人による監査を受けていない参考数値

セグメント別業績 ※比較参考数値（調整後）

(百万円)

		2016年 1~12月 実績	2017年 1~12月 実績	増減	
				(額)	(率)
売上高	● 工作機械事業	43,868	55,796	11,928	27.2%
	● 産業機械事業	8,776	12,721	3,945	45.0%
	● 食品機械事業	3,991	4,435	444	11.1%
	● その他事業	5,648	5,760	112	2.0%
		62,284	78,714	16,429	26.4%
セグメント 利益	● 工作機械事業	6,188	9,300	3,111	50.3%
	● 産業機械事業	422	1,471	1,048	248.3%
	● 食品機械事業	407	127	△ 280	△ 68.7%
	● その他事業	803	846	42	5.3%
		7,822	11,745	3,922	50.1%
調整額		△ 2,537	△ 2,583	△ 45	1.8%
営業利益 合計		5,285	9,161	3,876	73.3%

※監査法人による監査を受けていない参考数値

工作機械事業

- ✓ 国内は、3月に採択されたものづくり補助金に係る受注が売上増加に寄与したほか、自動車、スマートフォン関連からの受注堅調。
- ✓ 北米は、堅調だった自動車、航空宇宙、医療機器関連の需要に一服感あり。
- ✓ 欧州はロシア、トルコ等で停滞感がある一方、ドイツ、イギリス、イタリアを中心に自動車、航空宇宙関連からの需要が堅調。
- ✓ 中華圏は、ものづくりの高度化や自動化対応、中国政府の補助金政策の影響もあり、電動化が進む自動車関連や高度化するスマートフォン関連を中心に高水準な受注、販売が継続。
- ✓ アジアはタイやマレーシアを中心に自動車関連の需要が拡大基調にあるほか、韓国でも半導体やスマートフォン関連からの需要堅調

産業機械事業

- ✓ 国内は、車載用コネクタやセンサー部品、スマートフォン用光学レンズやコネクタなど高付加価値部品向けの需要が旺盛だったほか、自動車用部品向けに型成形機の需要も堅調。
- ✓ 中華圏・アジアにおいても、スマートフォン及び車載カメラ用光学レンズの成形や防水対応用のシリコン成形の需要が好調。

食品機械事業

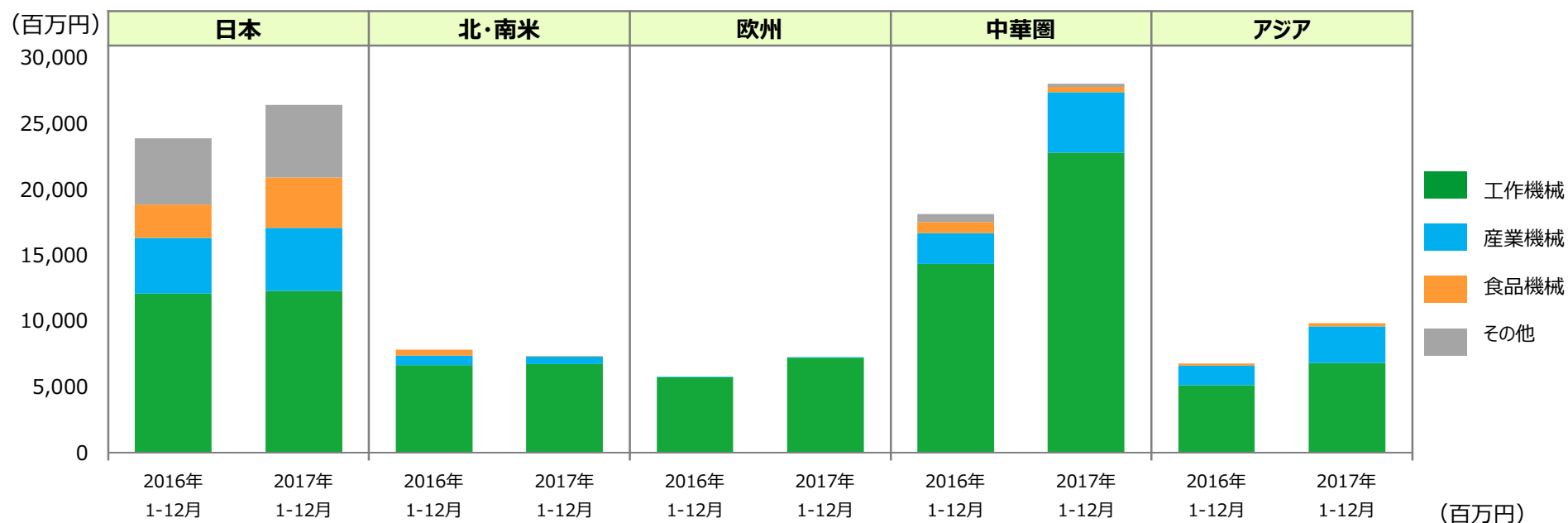
- ✓ 調理麺の品質向上のための設備投資需要あり。
- ✓ 製菓、包装米飯など製麺業界以外からの機械需要あり。
- ✓ 複数案件の検収が第3四半期以降にズレたため、売上低迷。
- ✓ 新製品立ち上げコストの一時的な発生により、セグメント利益は減少。

その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの販売が順調。

事業別海外売上高比率 ※比較参考数値（調整後）

✓ グローバルに事業を展開、海外売上高比率は66.5%



2016年1～12月	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	12,064	27.5%	6,664	15.2%	5,702	13.0%	14,327	32.7%	5,109	11.6%	43,868	70.4%
産業機械	4,221	48.1%	721	8.2%	27	0.3%	2,309	26.3%	1,497	17.1%	8,776	14.1%
食品機械	2,549	63.9%	437	11.0%	-	-	847	21.2%	157	3.9%	3,991	6.4%
その他	5,023	88.9%	-	-	-	-	625	11.1%	-	-	5,648	9.1%
地域別計	23,858	38.3%	7,822	12.6%	5,730	9.2%	18,109	29.1%	6,764	10.8%	62,284	100.0%

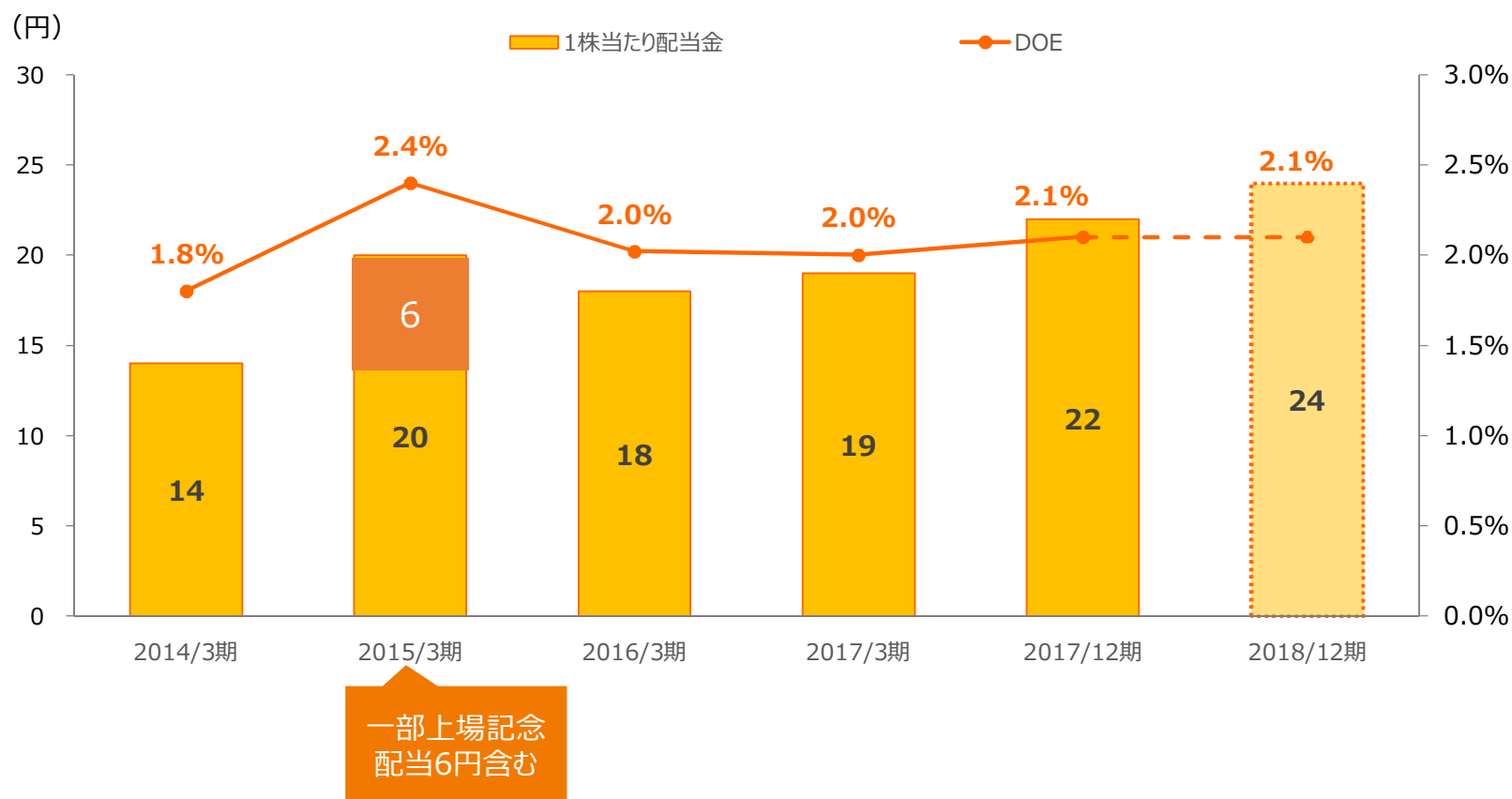
2017年1～12月	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	12,291	22.0%	6,710	12.0%	7,221	12.9%	22,776	40.9%	6,796	12.2%	55,796	70.9%
産業機械	4,786	37.6%	585	4.6%	0	0.0%	4,555	35.8%	2,795	22.0%	12,721	16.2%
食品機械	3,790	85.5%	20	0.5%	-	-	410	9.2%	213	4.8%	4,435	5.6%
その他	5,521	95.9%	-	-	-	-	239	4.1%	-	-	5,760	7.3%
地域別計	26,389	33.5%	7,316	9.3%	7,222	9.2%	27,981	35.5%	9,805	12.5%	78,714	100.0%

※監査法人による監査を受けていない参考数値


Ⅲ. 株主還元

株主還元方針及び配当予想

- ✓ 配当方針：株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 2017年12月期の配当金は、期末配当金を期初予想から2円増配の12円に修正。年間配当は22円を予定（中間10円、期末12円）
- ✓ 2018年12月期の年間配当金は、24円の予定（中間12円、期末12円）

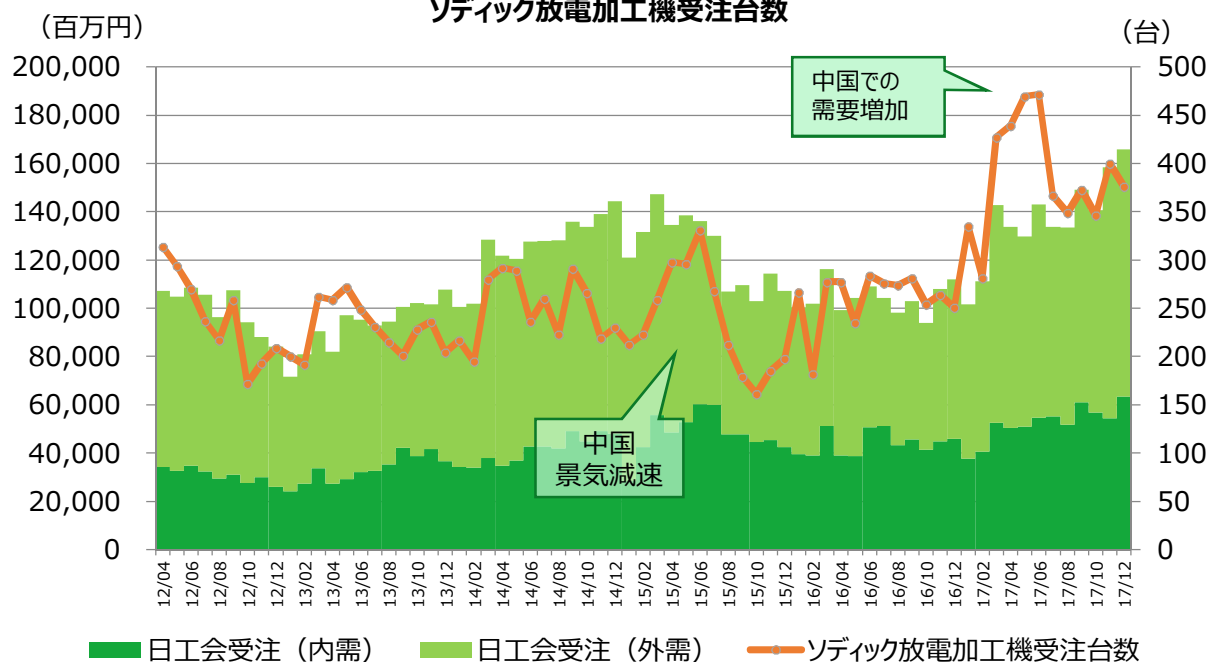


IV. 2018年12月期 業績予想

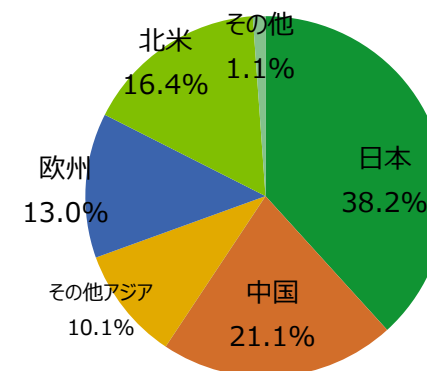


- ✓ 国内：政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要により、堅調な需要が継続する見通し。
- ✓ 北米：法人税減税政策により、自動車、航空宇宙、医療機器関連を中心に設備投資需要が増加する見通し。
- ✓ 欧州：ロシアやトルコなどの地域では減速感が見られる他、イギリスのEU離脱問題などもあり先行きに不透明感はあるものの、自動車、航空宇宙関連の需要は堅調に推移する見通し。
- ✓ 中国：ものづくりの高度化、人件費の高騰を背景とした自動化ニーズの高まり等もあり、高精度な機械の需要は引き続き増加する見通し。
- ✓ アジア：タイ、マレーシアなどでは自動車関連を中心に回復基調が続くほか、韓国ではスマートフォン、半導体関連からの需要が継続する見通し。

日本工作機械工業会 工作機械受注金額・
ソディック放電加工機受注台数



日本工作機械工業会
工作機械 地域別受注構成比
(2017年1月-12月累計)



出典：日本工作機械工業会

出典：日本工作機械工業会

2018年12月期 通期業績予想



- ✓ 人件費、減価償却費等の固定費増加に伴い、利益率は低下するものの、最大のマーケットである中国での販売増加を見込んでおり、売上高810億円と過去最高を更新する見通し。

(百万円)

	2017年12月期 (4~12月：9か月変則)		2018年12月期		2017年12月期 (全社1-12月 換算) 実績
	実績	利益率	予想	利益率	
売上高	65,604	-	81,000	-	78,714
営業利益	7,490	11.4%	8,000	9.9%	9,161
経常利益	7,910	12.1%	8,000	9.9%	9,384
当期純利益	5,736	8.7%	5,700	7.0%	6,664
期中平均 為替レート	ドル	111.69円		112.00 円	112.16 円
	ユーロ	128.55円		132.00 円	126.70 円
	人民元	16.62円		16.90 円	16.62 円
	バーツ	3.33円		3.40 円	3.31 円

※決算期変更に伴い、2017年12月期は3月決算会社は4~12月の9ヶ月間、12月決算会社は1月~12月の12ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前期比増減については記載しておりません。

セグメント別 通期業績予想

		2017年12月期 (4~12月)	2018年12月期	2017年12月期 (全社1-12月)
		実績	予想	実績
売上高	● 工作機械事業	47,559	57,000	55,796
	● 産業機械事業	9,981	12,100	12,721
	● 食品機械事業	3,467	5,900	4,435
	● その他事業	4,596	6,000	5,760
		65,604	81,000	78,714
セグメント利益	● 工作機械事業	7,478	8,370	9,300
	● 産業機械事業	976	1,000	1,471
	● 食品機械事業	178	550	127
	● その他事業	847	680	846
		9,481	10,600	11,745
調整額		△ 1,991	△ 2,600	△ 2,583
営業利益 合計		7,490	8,000	9,161

(百万円) **工作機械事業**

- ✓ 国内は老朽化設備の更新需要もあり堅調に推移する見通し。
- ✓ 北米は法人税減税政策等により設備投資需要の増加が見込まれているほか、欧州も設備投資需要は堅調に推移する見通し。
- ✓ 中国は、自動車、スマートフォン関連向けの高精度機の需要が引き続き好調に推移する見通し。
- ✓ タイ・マレーシアなどでは自動車関連から、韓国ではスマートフォン、半導体関連からの需要が継続する見通し。

産業機械事業

- ✓ 国内市場は自動車、電子部品、半導体関連を中心に堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏およびアジア地域ではスマートフォン、コネクタ関連向けの高精度な機械需要が増加しており、高い受注水準が継続する見通し。

食品機械事業

- ✓ 高品質な麺需要が引続き見込まれるほか、製菓、包装米飯・包装惣菜など製麺業界以外の販売が拡大していく見通し。

その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの外販も引き続き堅調に推移する見通し。

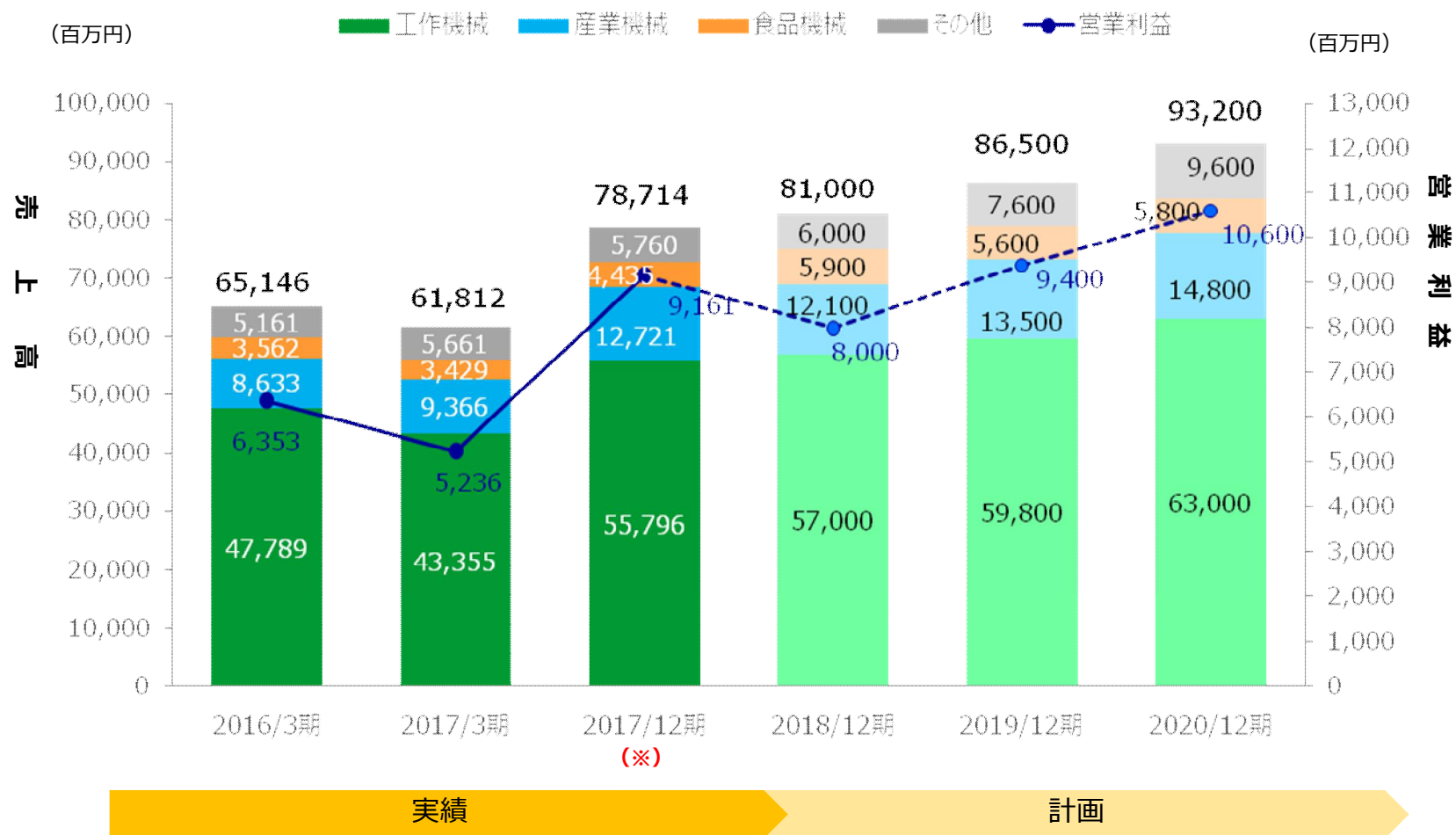
※決算期変更に伴い、2017年12月期は3月決算会社は4~12月の9ヶ月間、12月決算会社は1月~12月の12ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前期比増減については記載しておりません。

✓ 2018年12月期の各項目に関する予想については、以下の通り。

設備投資	<p>設備投資は約80億円を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none">・加賀事業所 マルチファクトリー 約25億円・欧州営業拠点新社屋（英国） 約10億・精密金型・精密成形事業 生産能力増強 約6億円・セラミックス 生産能力増強 約8億円
減価償却費	<p>減価償却費は約33億円を見込む。</p>
研究開発費	<p>研究開発費は約42億円と高水準を維持する見込み。</p> <ul style="list-style-type: none">・金属3Dプリンタ関連の研究開発・新電源、次世代CNC等の要素技術、次世代技術の開発

V. 中長期的戦略及び見通し

2020年12月期までに、売上高932億、営業利益106億を展望。



※2017年12月期は、比較参考のため全社2017年1月～12月の1年間に換算した数値を表記しています。

工作機械事業

- ✓ **全地域におけるマーケットシェア拡大**
 - ⇒新興国マーケットにおいて、低価格機種「VLシリーズ」の販売強化
 - ⇒先進国マーケットにおいて、当社主力製品である高精度ワイヤ放電加工機「ALシリーズ」を拡販
- ✓ **金属3Dプリンタの販売・研究開発を加速**
 - ⇒金型分野での競争優位性を高めると共に、部品加工分野への市場開拓により販売台数増加を図る
 - ⇒造形速度、メンテナンス性の向上、使用材料のラインナップ拡充により市場を拡大
- ✓ **生産の効率化、部品の共通化により製造原価を低減**

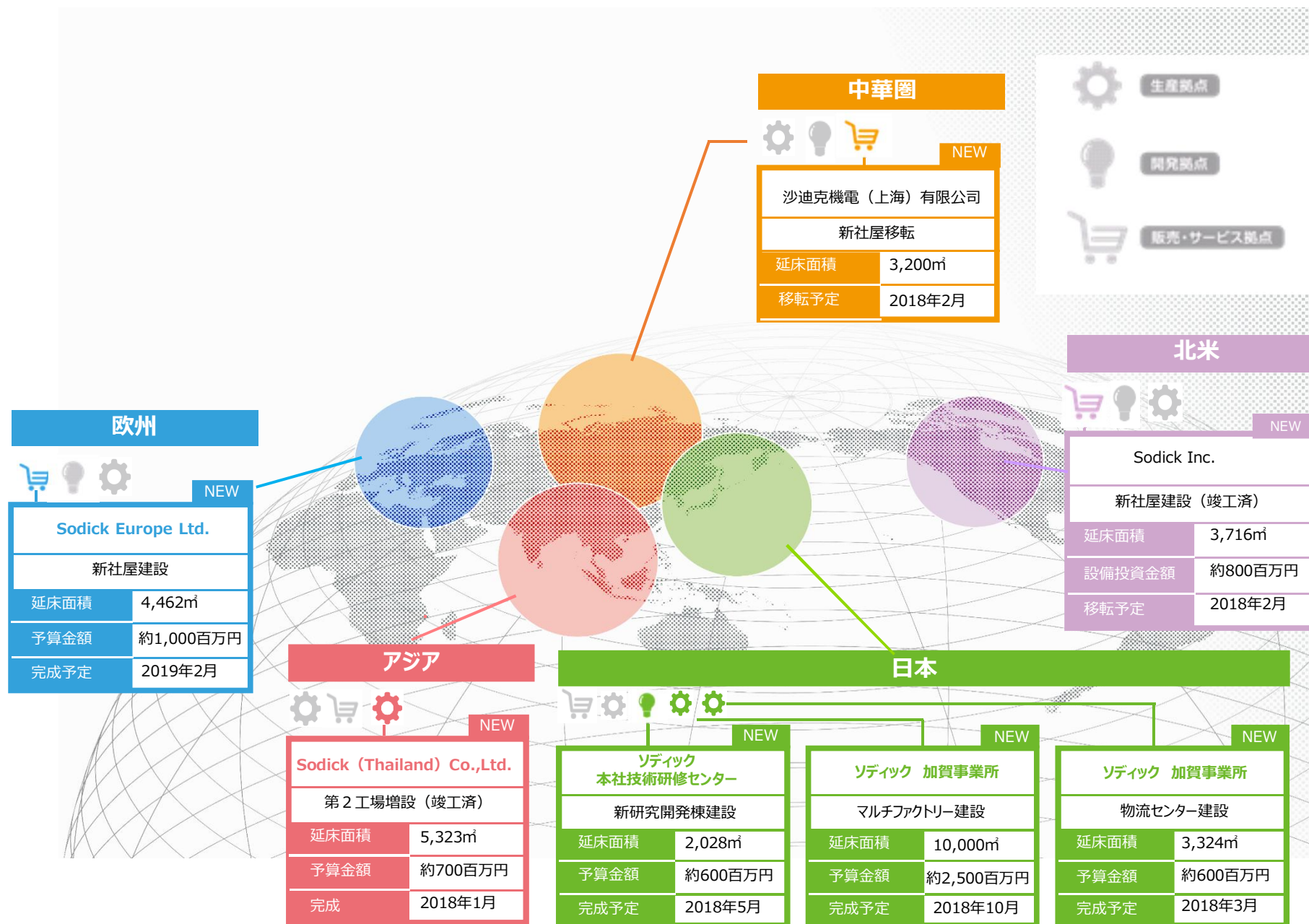
産業機械事業

- ✓ **海外売上高比率を70%以上に向上**
 - ⇒製造原価の低減、販売体制の再構築・営業強化
 - ⇒マーケットニーズの高い全電動射出成形機（MSシリーズ）の拡販
- ✓ **ラインナップの更なる拡充により、新たな需要を創出**
 - ⇒アルミニウム射出成形機「ALM450」をダイカストマシンに代わる主力製品に育てる
 - ⇒金属3Dプリンタ専用射出成形機「MR30」による自動生産システム「ICF-V」の拡販
- ✓ **収益力強化を目指した原価低減プロジェクトへの取り組みを推進**

食品機械事業

- ✓ **工場拡張による収益力の強化**
 - ⇒生産能力の増強により納期短縮を目指す
- ✓ **海外市場向けの製品開発により海外売上高拡大**
- ✓ **製麺機以外の製品開発及び販路拡販**
 - ⇒米飯装置の国内外での販売強化

経営基盤の強化（1）



生産拠点

✓ 加賀事業所 マルチファクトリー、新物流センターの建設

⇒事業環境や市場の変化に柔軟に対応する生産体制を構築するため、放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ、射出成形機など、多種多様な製品の生産可能なマルチファクトリーを建設。福井県にある物流センターを加賀事業所内に移転することにより、梱包・輸送効率を高めコスト削減を進める。

✓ タイ 第2工場増設

⇒第2工場 第2建屋を増設し、生産能力を2割程度増強し、受注増加に対応できる生産体制を構築。

販売拠点

✓ Sodick Inc. 新社屋建設

⇒精密金属3Dプリンタや放電加工機を展示するショールームを拡張し、（旧オフィスの約2倍の規模）金型及び航空宇宙分野で世界最大市場である北米での販売体制を強化。

✓ Sodick Europe Ltd. 新社屋建設

⇒製品を保管する倉庫、精密金属3Dプリンタを展示するショールームを拡張するほか、販売・サービス体制を強化し、欧州でのシェア拡大を目指す。

✓ 沙迪克機電（上海）有限公司 新社屋移転

⇒販売台数増加が見込まれている中国市場での販売体制を強化。

研究開発拠点

✓ 横浜本社 新研究開発棟建設

⇒精密金属3Dプリンタ関連の研究開発、新電源、新世代CNC等の新たな要素技術の開発、次世代技術の開発を強化。

その他

✓ 人員増加、人材開発、労働環境の改善等、優秀な人員確保のため人的投資を増強。

(参考資料)



国内外の拠点



Sodick America Corporation(San Jose)



Sodick, Inc. (Chicago)



Shanghai Sodick Software Co., Ltd.



宮崎事業所



加賀事業所



本社／技術・研修センター



Sodick Europe Ltd. (U.K.)



福井事業所



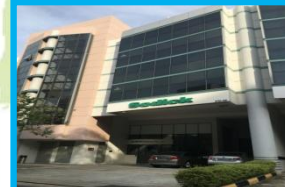
Sodick Deutschland GmbH (Germany)



Sodick Korea Co.,Ltd.



Sodick (Thailand) Co., Ltd.



Sodick Singapore Pte., Ltd.



Sodick (H.K.) Co., Ltd.



Sodick Amoy Co., Ltd.



Sodick (Taiwan) Co., Ltd.



Suzhou Sodick Special Equipment Co., Ltd.

本社

生産拠点

開発拠点

販売・サービス拠点

主な展示会への出展情報

✓ 国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	開催地		展示会	概要
2018年				
2/20~24	ドイツ	デュッセルドルフ	METAV (International Exhibition for Metalworking Technologie)	
4/3~7	韓国	ソウル	SIMTOS 2018	
4/9~13	英国	バーミンガム	MACH 2018	
4/11~14	インド	ムンバイ	11th Die&Mold India International Exhibition	
4/18~21	日本	大阪	インターモールド大阪	
4/24~26	USA	テキサス	Rapid	3Dプリンタの展示会
4/24~27	中国	上海	ChinaPlas 2018 (国際プラスチック・ゴム産業展)	
5/14~18	ロシア	モスクワ	Metallobrabotka (international show for the machine tool and metalworking industry)	
5/16~19	タイ	バンコク	INTERMACH	
5/23~26	マレーシア	クアラルンプール	MetalTech	
6/5~9	中国	上海	DMC2018 (International Exhibition on Die & Mould Technology and Equipment)	
6/20~23	タイ	バンコク	Intermold/Interplus	
6/26~30	中国	北京	CIMES (China International Machine Tools & Tools Exhibition)	
7/3~6	ベトナム	ホーチミン	MTA Vietnam HoChiMinh (International Precision Engineering, Machine Tools and Metalworking Exhibition & Conference)	
9/10~15	USA	シカゴ	IMTS2018	世界最大級の工作機械展示会
9/18~22	ドイツ	シュトゥットガルト	AMB (International exhibition for metal working)	
10/9~13	イタリア	ミラノ	31.BiMu (trade fair for metal forming and cutting machines)	
11/1~6	日本	東京	JIMTOF 2018	世界最大級の工作機械展示会
11/27~30	中国	東莞	DMP 2018 (国際金型・金属加工・プラスチック・包装展)	

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック 経営管理部

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835